



成田中だより

令和5年5月19日
 成田市立成田中学校
 TEL 0476-22-0304
 生徒数 504名
 文責 濱谷 昌人

〈令和5年度学校教育目標〉『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

林学年が「いいところ探し」の修学旅行で古都を満喫！

～Good memory forever 楽しめなかったらそこで修学旅行終了ですよ～



◎1日目は、奈良東大寺から班別行動スタート！

◎2日目、いよいよ伏見稻荷千本鳥居に入ります！

初夏を感じさせる青葉の季節に、3年生H学年の皆さんと一緒に古都（京都・奈良）への修学旅行へ行ってきました。初日と2日目に少し雨が降ったものの、大方天候にも恵まれ素敵な3日間になったと思います。どの班も、仲良く班別行動を楽しんでいる姿が印象的でした。ホテルの部屋や夜のレク大会も盛り上がっていましたね。今まで気付かなかったお互いの良さもたくさん発見することができたのではないのでしょうか。皆優しい笑顔で帰ってくることができたのは、一人ひとりにとって「いいところ探しの旅」になっていた証ではないかと思っています。また、いつも笑顔で心温まるおもてなしをしてくださったホテルの方々やバスガイドさんとの交流も忘れることができませんね。京都・奈良での観光客の多さにも驚きました。コロナの影響で3年以上制限の日々が続いていましたが、こんなに観光客の多い京都・奈良を再び訪れることができて感慨深く感じました。予定通りに修学旅行に行くことができたことを心から嬉しく思っています。

今年の3年生の皆さんは、初日の奈良の東大寺の見学後から早速班別コースに挑戦、2日目は公共交通機関で京都市内班別コースを楽しみ、そして、最終日にはクラス関係無しのグループを組み嵐山を堪能しました。特に、2日目は、観光場所、乗り物の時刻、昼食場所などを、班のメンバーとともにじっくり話し合い、それぞれの班のテーマに沿ったオリジナルコースを作り本番に臨みました。中心となった班長さんは、本当によく頑張ったと思います。お疲れ様でした。私も、皆さんが班別コースを楽しむ様子をカメラに収めようと人気スポットを必死に先回りしながら待ち構えていましたが、どの班も穏やかな雰囲気を楽しそうに行動している様子が伝わってきました。それぞれの班の班長さんの思いやり溢れるリーダーシップもたくさん見かけました。

今回のH学年の皆さんの良かったところは、主任のH先生もおっしゃっていた通り、約束の時間を守りながら様々な場面で臨機応変の適切な行動ができていたところだと思います。実行委員や班長達が、とてもよく頑張っていたからこそだと思います。このリーダー達の頑張りを仲間達がいしっかりと認め、お互いに思いやりを持ち優しさ溢れる旅行になったと思います。「Good memory forever 楽しめなかったらそこで修学旅行終了ですよ」のスローガンのもと、思いやりの心を大切に互いの「いいところ探し」を実現させた2泊3日となりました。3年生の皆さんにとって、きっと一生忘れることのできない大切な宝物となったに違いありません。

【修学旅行フォト】 心に残った3日間！爽やかな古都の風を肌で感じました。



◎東大寺大仏殿前で

◎春日大社へお参り

◎若草山前で可愛い鹿さんと♡



◎伏見稲荷神社にやっと到着♡

◎伏見稲荷の鳥居にピクリ

◎春日大社でお参りを終えて



◎成中生一番人気の清水寺！

◎先生方の笑顔（ホテル前）

◎金色鮮やかな金閣寺に感動！



◎渡月橋で桂川を眺めながら青春♡

◎天竜寺満喫♡

◎緑鮮やかな天竜寺の庭園で



今回の修学旅行は、「困ったときはお互い様」の精神で最後の最後まで「思いやり」の気持ちを忘れずに旅をすることができていた人が多かったと感じています。班によっては、班別行動の途中で意見の食い違いがあったりもしたようですが、最終的にはお互いの気持ちを尊重して力を合わせて行動することができていたようです。時には、譲り合うことも大切だということも学べたのではないのでしょうか。だからこそ、今まで気づけなかった友人の良いところをたくさん発見して帰ってこれたのだと思います。3年生の皆さん、とてもいい旅でしたね。委員長のI.M.さん(3年)を中心とする実行委員の皆さんや班長・部屋長を中心に、

皆で成功させたこの経験を、これからの活動に生かしていきましょう。古都で感じた爽やかな歴史の風は、これからも、ずっと皆さんの心に残り続けることでしょう。皆さんとの2泊3日は、私にとっても忘れられない旅となりました。ありがとうございました。

「母の日」の思い出 ～34年前の出来事・・・～

修学旅行初日の日(5/14)は『母の日』でしたね。3年生の皆さんは、修学旅行初日で、この日もお母さんに頼りっぱなしという人も多かったかもしれませんね。皆さんは、『母の日』をどのように過ごしたのでしょうか・・・皆さんの時期というのは、なかなか自分の親に対して素直になれないときかもしれませんね。結構、反抗ばかりしている人も多いんじゃないですか?でも、反抗ばかりしながらも、本当は、親の^{ありがたみ}有難味というものを、身に染みて感じているはずなんですよね。だから、この『母の日』というのは、みんながお母さんに対して、素直に感謝の気持ちを伝える良い機会だったと思います。



もう、34年も前の話になります。私が中学校の教員となって2年目で、忘れられない出来事がありました。当時は、『母の日』の前になると、「おかあさんありがとう」と書かれた胸に飾る造花のカーネーションを全員に配っていたのです。そして、2年生のクラス担任をしていた私が、そのカーネーションを配り終えた瞬間、一人の男子生徒がカーネーションをグシャグシャにして、ゴミ箱の中に捨ててしまったのです。母親のいない生徒でした。担任としての配慮の足りなさに、随分反省させられた記憶が残っています。その生徒の家では、ほとんどの家事を、父親が働きながらやっていたのです。ゴミ箱から、グシャグシャになったカーネーションを拾い上げ、「おかあさんありがとう」の部分、担任の手作りで「おとうさんありがとう」に変えて、放課後、その生徒をそっと呼んで渡してみました。すると、その生徒は、ちょっと照れくさそうにしながらも、笑顔で受け取って胸につけて帰って行きました。今思えば、それでも彼の気持ちは複雑だったに違いありませんが、自分のために必死になっている若い担任の気持ちに、笑顔で応えてくれたのでしょう。彼の方が、よっぽど私より大人だったのかもしれません。相手の心を気遣うことのできる生徒でした。

先週、照れくさくて何もできないまま、『母の日』が過ぎていってしまった人もいるかもしれませんね。また、3年生の皆さんは、修学旅行でそれどころではなかったかもしれません。そんな皆さん、1週間遅れの『母の日』も、悪くはないんじゃないですか・・・。

写生会 ～成田中が、いつまでも大切にしていきたい行事です～



5月1日（月）、ゴールデン・ウィークの合間に実施された成田山公園での写生会は、心配された天気の方も回復し、明るい春の陽射しの中で予定通り実施でき本当に良かったです。青葉の季節に映える成田山公園内の風景を描きながら、成中生の皆さんも地元の名勝^{たんのう}を堪能することができたのではないのでしょうか。ほとんどの学校で写生会という行事が失われている中、今もなお本校に写生会が残されているのは、地元の歴史と文化にじっくりと触れることができるということも一つの大きな理由です。成田中学校が、いつまでも大切にしていきたいと考えている行事の一つです。

美術科の菅野先生が、昨年度の反省を生かしながら準備と指導に当たってきました。美術科の授業の中で、

成中生と一緒に挑戦した0先生の絵も素晴らしい！ それぞれの学年に応じて、今回の「写生」の目的が伝えられていたので、一人ひとりが高い意識を持って、本番前から構図を考えることができていましたね。そして、しっかりと準備した上での本番となったので、皆さんも、高いモチベーションで写生会に臨めたに違いありません。

また、カメラ片手に自分のクラスの生徒達の作品を覗いて歩く担任の先生方の温かい視線も印象的でしたね。きっと、日頃見られない皆さんの素敵な一面を発見できたのではないのでしょうか。先生方に一声かけてもらった人も多かったのではないのでしょうか。生徒に負けじと、生徒と一緒に風景画に挑戦していた3年〇組担任の0先生の作品もお見事でした。3〇の皆さんもビックリしていましたね。生徒にとって、一緒に描いてくれる先生がいるって嬉しいものですよね。0先生、この後美術の授業に参加して、ぜひ色も塗ってください。（笑）皆さんは、これからも美術の時間に作品の制作が続きます。一人ひとりの個性が溢れる作品が完成することを楽しみにしています。

【写生会フォト】 清々しい春の陽射しが降り注ぐ成田山公園で、写生会を満喫しました！

